

CLT関連予算について

国土交通省

1 平成 28 年度第2次補正予算

- (1) サステナブル建築物等先導事業(木造・木質化分野) [1. 5億円]
- ・ CLT等新たな木質建築材料を用いた工法等について、建築実証と居住性等の実験を担う実験棟の整備に対する支援
 - ・ 施設を展示公開するとともに、耐久性、遮音性、温熱環境や施工性等について実験・検証
- (2) 建築物の防災性等の研究機能の強化 [2. 2億円]
- ・ 建築物の防災性等の向上に寄与するための実験施設の機能強化
((国研)建築研究所における加力装置の追加等)

2 平成 29 年度予算概算決定

- (1) サステナブル建築物等先導事業(木造・木質化分野) [104億円の内数]
- ・ CLT工法等先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造・木質化プロジェクトに対する支援
(平成 28 年度第2次補正予算における拡充内容についても継続実施)
- (2) 新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発 [0. 9億円]
- ・ CLTと鉄筋コンクリート等の混構造建築物に関する耐震構造等に関する技術開発

サステナブル建築物等先導事業(木造・木質化分野)

平成29年度予算案:

環境・ストック活用推進事業 103.57億円の内数

木造・木質化等に係る住宅・建築物のリーディングプロジェクトを広く民間等から提案を募り、支援を行うことにより、総合的な観点からサステナブルな社会の形成を図る。

木造・木質化分野の概要

(1) 多様な用途の先導的木造建築物への支援

宿泊施設や事務所等先導的な設計・施工技術が導入される実用的で多様な用途の木造建築物等の整備に対し、国が木造・木質化に伴う掛かり増し費用の一部を助成。

● 補助対象事業者

民間事業者、地方公共団体等

● 補助額

【調査設計費】

木造化・木質化に関連する費用の1/2の額

【建設工事費】

木造化・木質化することによる掛かり増し費用の1/2の額。ただし、上記費用の算出が困難な場合は、建設工事費の15%(木造化の場合)、3.75%(木質化の場合)

● 対象プロジェクト

下記の要件を満たす木造又は木質化建築物(公募し、有識者委員会により選定)

- ① 構造・防火面の先導的な設計・施工技術の導入
- ② 使用する材料や工法の工夫により整備コストを低減させるなどの、木材利用に関する建築生産システムについて先導性を有するもの
- ③ 建築基準法上特段の措置を要する一定規模以上のもの
- ④ 多数の者が利用する施設又は設計・施工に係る技術等の公開等

《採択実績》 合計67件(平成22～26年度までの前身事業の実績を含む)

(近年の年度別) 24年度: 7、25年度: 7、26年度: 5、27年度: 8、28年度: 22(うち実験棟5)



CLT工法による木造ホテル



木質ハイブリッド構造部材を使用した耐火建築物

(2) 実験棟の整備への支援と性能の把握・検証

CLT等新たな木質建築材料を用いた工法等について、建築実証と居住性等の実験を担う実験棟の整備費用に対し、国が一定の費用を助成(拡充※)。

※平成28年度第2次補正予算において措置。平成29年度予算においても継続。

● 補助対象事業者

● 補助額

【調査設計費及び建設工事費】

定額(上限30百万円)



CLT(直交集成板)パネル



CLT工法による実験棟

● 対象プロジェクト

下記の要件を満たす木造の実験棟(公募し、有識者委員会により選定)

- ① 木材利用に関する建築生産システム等の先導性を有すること
- ② 国の制度基準に関する実験・検証を行うこと
- ③ 公的主体と共同または協力を得て研究を行うこと
- ④ 実験・検証の内容を公表すること
- ⑤ 実験・検証の一般公開等による普及啓発に資すること

新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発

要旨

本課題では、木材の利用推進、材料の特性をいかした可変性の拡大、施工期間の短縮など、各種目的を実現するため、CLT等の木質系大型パネルを用いた木造と他構造種別、木質系他構法（集成材構造・2X4工法）の混構造建築物の設計・施工技術の整備に資する技術開発を行う。

H29 予算案：91 百万円
研究期間：H29～H33

研究内容

【構造性能】

CLT等＋他構造種別による混構造、木質系の他の構法の混用による架構の構造設計法の検討。混構造建築物の耐震要素、接合部の技術資料・モデル化手法の整備

【防耐火性能】

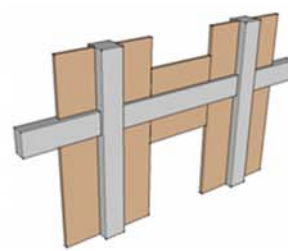
木質系準耐火・耐火構造と他構造種別による混構造の防耐火設計法の検討。混構造における延焼防止要素および異種構造部材、接合部等の防耐火性能と構造方法等に関する技術資料の整備

【耐久性能】

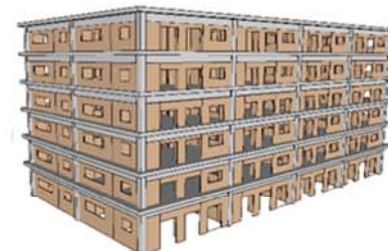
中層建築物の耐久設計上の外力の標準化と耐久性能向上に関する技術資料の整備。

＜混構造建築物における各材料の長所＞

木質材料	鋼材	RC
省CO ₂ 軽量 可変性	高強度 高靱性	高強度 耐火性能



RC柱・梁＋木造袖壁



RC柱・梁＋木造袖壁

＜木造とRC造の混構造の例＞



適材・適所の自由度の高い設計・施工

成果 (アウトプット)

- ・ 木造と他構造種別、他構法による混構造建築物の構造設計法の提案、防耐火上の技術資料の整備
- ・ 官庁施設における木造技術資料類への反映
- ・ 混構造建築物の耐久性向上のためのガイドラインの提示